

南一の風 育てたい力(資質・能力):つながる力・考動する力・創り出す力

本校では、変化の激しい未来を生きる子どもたちに必要な資質・能力として、つながる力（協働性：他者とつながり、協力・協働する）、考動する力（主体性：主体的に考え行動し、最後までやりきる）、創り出す力（創造性：よりよいものを求め、創り出す）の育成を目指しています。1つめの「つながる力」を育成するための具体的な取り組みとして、なかまとしてつながるための取組、学び合う授業（聞き合う、伝え合う、高め合う）、地域社会とつながるための取組、この3つを中心に取り組んでいます。今回は、「つながる力」をテーマに、紹介します。

なかまとしてつながる

学校では、安心・安全な学校づくりを基盤として、子ども同士がつながりあうための取組、いじめや差別のない学校づくりを全ての教育活動で進めています。具体的な取組を紹介します。

すっきりして笑顔で下校させたい

トラブルがあったときには、それぞれの言い分を聞き、確認をして、お互いが納得して、すっきりさせて笑顔で帰すようにしています。いやな思いをしたら、その時、その場で伝えるようにしていますが、言い出せない子どももいますので、表情の変化を見逃さないことを心がけ、帰りの会などでも把握できるようにしています。

下校指導で「楽しかった！」

下校時に、正門のところで、「一日楽しかった（ですか）？」と、声をかけるようにしています。笑顔で「はい」「楽しかった」と答えてくれると、ほっとします。

学び合う授業で

子ども同士が、互いに尋ね合う、教え合う、考えを伝え合う等の学習活動を通して、つながっていきます。学習の振り返りを行う時には、友達のがんばりを認め合う姿が見られます。（具体例を下記に記載）

遊びでつながる

朝の遊びタイムや昼休みには、同学年の子ども同士で遊んだり、学年関係なく一緒に遊んだりしています。野球、サッカー、ドッジボール、おにごっこなど、いろんな遊びをしています。遊びの中で、トラブルも発生します。互いの話を聞き、すっきりさせてあげると、また一緒に遊び始めます。上級生が話を聞いてくれている場面も見かけます。

アンケートで見逃さない

いやな思いをしても言い出せない子ども、表情には見せない子どもがいます。10月23日（金）にお届けしました「子どものサインチェックリスト」につきましては、ご協力ありがとうございました。ご相談いただきましたことにつきましては、教育相談や授業での取組を進めています。このアンケートについては、定期的に行いますので、ご協力の程よろしくお願ひします。i(アイ)・シグナルもご活用ください。

なお、お子様のごことで気になられることがございましたら、いつでもご相談下さい。機を逃さないためにも、どうぞよろしくお願ひいたします。

学び合う授業でつながる

子ども同士が、互いに尋ね合う、教え合う、考えを伝え合う等、学び合う授業を行っています。ある学級の授業最後の振り返りの場面で、つながりを感じる言葉を聞くことができました。「〇〇さんが、まちがっていたけど、最後までがんばったので、すごいと思いました。」まちがいを認め合い、子ども同士のつながりを感じる言葉でした。実は、この子どもさんの考え方は正しかったのですが、表し方がまちがっていただけでした。担任は、「〇〇さんのおかげ。ありがとう。」と、しっかりほめていました。



考えを伝え合う



朝の遊びタイム

地域とつながる

先週、1年生が天津山公園での自然とのふれあい、2年生が、公共施設の役場・公民館・図書館見学、5年生が脱穀作業を体験しました。1年生は地域の自然とのふれあい、2年生は公共施設と働く人との出会い、5年生は脱穀という体験と地域の方と出会うことができました。こういう地域の人・モノ・コトとの出会いやふれあいを通して、子どもたちが、学びを深め、地域とつながることを意図して学習を組み立てています。今後も小学校6年間で、このような地域とつながるような学びを積み重ね、地域を愛する子ども、未来の南関町の担い手であり、創り手となってほしいと願っています。



2年生：公民館見学



5年生：脱穀体験

その他：行事（5年生集団活動教室）でつながる

11月2日（月）5年生が菊池少年自然の家での体験学習に行きました。町内4校での集団宿泊教室が開催できませんでしたので、本校5年生単独で、1日だけの開催となりました。この活動を通して、子どもたちは、今まで見ていなかった互いのよさに気づき、さらにつながりを深めてくれたことと思います。笑顔いっぱいだったそうです。



5年生：自然の家で



資源回収

資源回収、早朝よりお世話になりました。家庭・地域・学校がつながる大事な行事だということを改めて感じました。